お客様用

2023 年 2 月

ヘルスケア手帳サービス
ブラウザ設定手順書
（薬局様での作業）

対象機種

●ヘルスケア手帳サービス
●Pharnes 薬歴一体型レセコン

（Rev.0.94b）

medicom

本書について

本書は、『ヘルスケア手帳』に関する、薬局店舗様向けブラウザ設定時のマニュアルです。
ご利用中の PC 端末等に対して、薬局側待受画面である、『スマート薬局 受付・呼出 Web アプリ』の初期設定を構築する作業手順を記載しています。
また、『保険薬局システム Pharnes』と電子お薬手帳を連携するための設定も記載しています。
一方、利用者（患者）が使用する『ヘルスケア手帳スマートフォンアプリ』の利用開始に際する内容は含みません。
本書を必ずお読みいただき、正しく設定作業を実施してくださるようお願いします。

※ PC 端末の初期設定時間は、1 台あたり 約 15～20 分程度です。
※ Pharnes の管理設定時間は、10～15 分程度です。
※ 『スマート薬局 受付・呼出 Web アプリ』は、参照する全ての PC 端末で設定ください。

サポートについて

操作方法等ご利用者様に必要な情報は、スマートフォンアプリの中に使い方・ヘルプを掲載しています。
一般的なお問合せにつきましては、薬局店舗様の方でご返答いただける様に、スマート薬局 Web アプリ上に「よくある問合せ回答集」やマニュアルをご用意しております。

■メール サポート 営業時間：平日 9:00-17:00

ヘルスケア手帳事務局メールアドレス

pj-healthcarenote@ml.phchd.com

■電話 サポート お客様相談センター フリーダイヤル

0120-878-211（携帯電話・PHS からもご利用可）

受付時間 9 時～20 時（年中無休）

※ お問合せのお願い
「利用者 ID」「現象が発生した時間帯」などが手がかり情報です。
PHC 株式会社では個人情報は触れられない仕組みになっておりますので、
利用者様の氏名ではなく、「利用者 ID」にてお問合せをお願いします。

もくじ

第１章　PC 端末スマート薬局 Web アプリの設定

1.1「スマート薬局 受付・呼出 Web アプリ」ログイン画面の起動 ……1

第２章　動作確認 Web アプリログイン画面

2.1「スマート薬局 受付・呼出 Web アプリ」の表示・ログイン ……2

第３章　ブラウザの各種設定

インターネットエクスプローラー

3.1.1 バージョンの確認……4

3.1.2 ポップアップブロックの無効化
〈正常でない場合に実施〉……4

3.1.3Java Script 有効化の設定
〈正常でない場合に実施〉 ……6

3.1.4 信頼済サイトへの登録
〈正常でない場合に実施〉……6

3.1.5 お気に入り(ブックマーク・ショートカット)の登録
……6

3.1.6 ID/パスワードの記憶……7

3.1.7 画面表示更新 ……9

3.1.8 キャッシュの削除とブラウザ再起動……9

Google Chrome

3.2.1 バージョンの確認……10

3.2.2 ポップアップブロックの無効化
〈正常でない場合に実施〉……11

3.2.3Java Script 有効化の設定
〈正常でない場合に実施〉 ……12

3.2.4 信頼済サイトへの登録
〈正常でない場合に実施〉……16

3.2.5 お気に入り(ブックマーク・ショートカット)の登録
……17

3.2.6 ID/パスワードの記憶……19

3.2.7 画面表示更新 ……20

3.2.8 キャッシュの削除とブラウザ再起動……20

Microsoft Edge
3.3.1 バージョンの確認……21
3.3.2 ポップアップブロックの無効化
〈正常でない場合に実施〉……22
3.3.3 Java Script 有効化の設定
〈正常でない場合に実施〉 ……24
3.3.4 信頼済サイトへの登録
〈正常でない場合に実施〉……25
3.3.5 お気に入り(ブックマーク・ショートカット)の登録
……27
3.3.6 ID/パスワードの記憶……28
3.3.7 画面表示更新 ……29
3.3.8 キャッシュの削除とブラウザ再起動……30
3.3.9 IE モードの利用設定……31

3.4 標準とするブラウザの変更……32

第４章 Pharnes 設定 （PharnesV/Ⅲのみ）
4.1 管理設定ツールの適用お願い……33
4.2 Pharnes 管理設定の変更……33
4.2.1 電子版手帳連携設定の変更……33
4.2.2 電子版お薬手帳 WEB 送信 管理設定……34
4.3 患者側(ヘルスケア手帳アプリ)の設定……35
4.4 電子版お薬手帳 WEB 送信……36

付録 エラーメッセージについて
付録 1.1 エラーコード：２１０１[薬局情報不正エラー]……38
付録 1.2 エラーコード：３３０１[ユーザ情報エラー]……38
付録 1.3 エラーコード：９９９[TLS1.2 不通]……39
付録 1.4 その他のエラーコード……43

1.　スマート薬局 Web アプリの設定

ご利用 PC 端末で、『スマート薬局受付・呼出 Web アプリ』待受画面へアクセスして、ログイン画面の表示を確認します。※所要5分程度

※　Pharnes 端末でも利用可能です。なお、下記サービス URL へのアクセス許可されているネットワークにつながっている PC のみ接続できます。

1.1「スマート薬局　受付・呼出 Web アプリ」ログイン画面の起動

・薬局の待受画面である、『スマート薬局　受付・呼出 Web アプリ』の URL は以下となります。
PC 端末のブラウザにて、この URL を入れるとログイン画面が表示されます。

■ 1.1.1　ログイン画面の URL（直接アクセス先）

《サービスサイト URL》
（1）スマート薬局　受付・呼出 Web アプリ　ログイン画面
[ホワイトリストをご利用されている薬局]
https://www.healthcareit-services.com/SmartPharmacy/receptionViewer
[ホワイトリストをご利用されていない薬局]
https://www.healthcare-note.com/SmartPharmacy/receptionViewer

・SmartPharmacy の“S”と“P”は大文字で記入します。
・receptionViewer の“V”は大文字で記入します。

ブラウザ（図はインターネットエクスプローラー）に URL を入力しますと、下記のログイン画面が表示されます。

《ログイン画面》
（1）スマート薬局　受付・呼出 Web アプリ
・ログイン画面へのアクセスは、ブラウザーに直接 URL を打ち込んでください

2.動作確認　PC 端末 Web アプリ　ログイン画面

設定した『スマート薬局受付・呼出 Web アプリ』の動作確認の方法や手順を説明します。※所要5分程度

2.1　「スマート薬局　受付・呼出 Web アプリ」の表示・ログイン

・ご利用 PC 端末の Web ブラウザでスマート薬局　受付・呼出 Web アプリへのログイン確認を行います。

① ブラウザ（インターネットエクスプローラーなど）を起動し、スマート薬局　受付・呼出 Web アプリのサービスサイト URL へアクセスします。

② お客様に別途直接付与されている、『スマート薬局ログイン用薬局 ID・使用者ID・パスワード』を用いてログインします。

③ ログインした『スマート薬局　受付・呼出 Web アプリ』画面で、以下の現象が起こっていないか確認します。

Java Script が無効（正常動作しない）状態の表示
スマート薬局　：　右肩の時刻表示や「ログアウト」ボタン、お知らせの内容が消えている

【画面例】　<B1-OK 正常な状態>　時刻表示や「ログアウト」ボタン、お知らせの内容が表示

<B1-NG 正常でない状態>　時刻表示や「ログアウト」ボタン、お知らせの内容が消えている

【原因】　<B1-NG>では、Java Scriptが無効になっているために起こる
【解決策】(A1) JavaScriptを有効にする設定方法（信頼済サイトへの登録）
を参照して信頼済みサイトへの登録を設定ください

正常動作していない場合は、3章のブラウザの設定において、**3.1.3/3.2.3/3.3.3　Java Script を有効にする設定方法**および、**3.1.4/3.2.4/3.3.4　信頼済サイトへの登録**　をご利用のブラウザに応じて実施してください。

④ ログイン後、下図の赤丸にある薬局アイコンをクリックして出現する、薬局情報に間違いがないことをご確認ください。修正が必要な場合は、ヘルスケア手帳運営事務局へメール等でご連絡ください。
※FAX 番号については、誤った登録のままでは誤送信される危険がありますので、必ずご確認ください。

■■■ご確認ください■■■

・薬局登録情報画面のポップアップが出ない場合は、①信頼済サイトへの登録が完了していない可能性および②ポップアップがブロックされている可能性があります。下記をご参照ください。

正常でない(ポップアップが出ない)状態の場合は、**3.1.1/3.2.1/3.3.1 ポップアップブロックの無効化** をご利用のブラウザに実施してください。

3.ブラウザの設定

本章では、ご利用 PC 端末で使用されるブラウザの設定作業を説明します。※所要 10 分程度
ブラウザとして、 Microsoft Internet Explorer、Google Chrome, Microsoft Edge 使用を想定し，それぞれの設定について、3.1, 3.2, 3.3 にて説明いたします。また、標準ブラウザの設定について 3.4 に説明しております。

Windows 10 (Ver21H2)において確認された、2022 年 6 月時点での最新バージョンは次の通りです。
Microsoft Internet Explorer　　バージョン 21H2(OS ビルド 19044.1706)
Google Chrome　　バージョン: 102.0.5005.115
Microsoft Edge　　バージョン 102.0.1245.41
セキュリティの観点から、最新版に更新してご使用されることをお勧めいたします。
また、Microsoft による Internet Explorer のサポートは、2022/6/16 終了(2023/2/14 windows10 の特定バージョンにおいて完全に無効化予定)のため、Edge/Chrome への移行実施を検討ください。3.3.9 に Edge での IE モードの利用について記載しております。

3.1　Internet Explorer の設定

こちらでは、ブラウザとして Internet Explorer をご使用される場合の設定について、説明します。

・ログインする端末　全機に設定ください。

3.1.1　バージョンの確認

① フォルダ「C:¥Program Files¥Internet Explorer」にてファイル「iexplore.exe」にマウスを合わせ、右クリックし、「プロパティ」を選択し、タブ「詳細」を選択
② 表示された Window の表示の製品バージョンの箇所を確認
③ 下の[OK]ボタンを押す。

バージョン 11.0.19041.***** といった 11 から始まる形で表示されていれば、Internet Explorer 11 となります。

もし、右図のように、Internet Explorer 11 未満のバージョンが表示された場合、これらのバージョンに対する Microsoft のサポートはすでに終了しておりますので、Internet Explorer11 への移行または、他のブラウザへの移行をお願いいたします。
参照: Internet Explorer 10 のサポート終了 | Microsoft Docs
Internet Explorer バージョン情報 - Browsers | Microsoft Docs

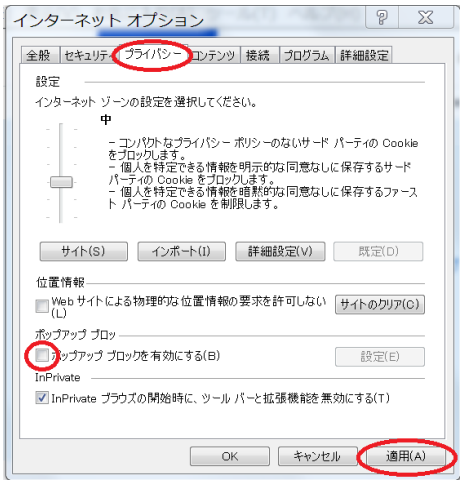
3.1.2　ポップアップブロックの設定　<2 章④正常でない場合に実施>

2 章④の確認にて、正常でない場合のみ実施ください。

① インターネットエクスプローラー右上の ⚙ をクリックし、「インターネットオプション(O)」を選択

② [プライバシー]タブの[ポップアップブロック]の項目で”ポップアップブロックを有効にする(B)”のチェックを外す

③ 下の[適用(A)]ボタンをクリック



3.1.3 Java Script 有効化の設定 〈2 章③正常でない場合に実施〉

2 章③の確認にて、正常でない場合のみ実施ください。

① インターネットエクスプローラー右上の ⚙ をクリックし、「インターネットオプション(O)」を選択

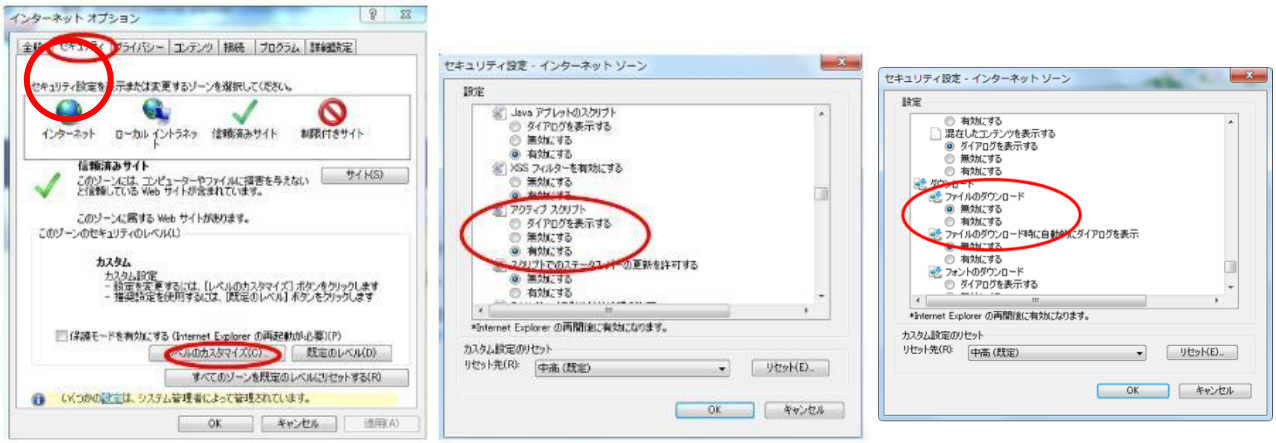
② [セキュリティ]タブの[インターネット（地球マーク）]ゾーンのアイコンをクリック

③ 下の[レベルのカスタマイズ(C)]をクリック

④ 設定を下にスクロールし、[スクリプト（中段くらい）]の項目の、[アクティブ スクリプト]を"有効にする"にチェック

⑤ 設定をさらに下にスクロールし、[ダウンロード（一番下段くらい）]の項目の、[ファイルのダウンロード]を”有効にする”にチェック

⑥ OK を押し、完了する



・[インターネット] の方の、"アクティブ スクリプト"を"有効にする" 設定です。

・[信頼済みサイト] の方の、"アクティブ スクリプト"を"有効にする"は、
通常次の信頼済みサイトへの追加を行うと、有効になります。

3.1.4　信頼済サイトへの登録　〈2 章③④正常でない場合に実施〉

Pharnes 端末では、既に信頼済サイトへの登録はデフォルト設定されています。
他のご利用 PC 端末で設定が必要です。

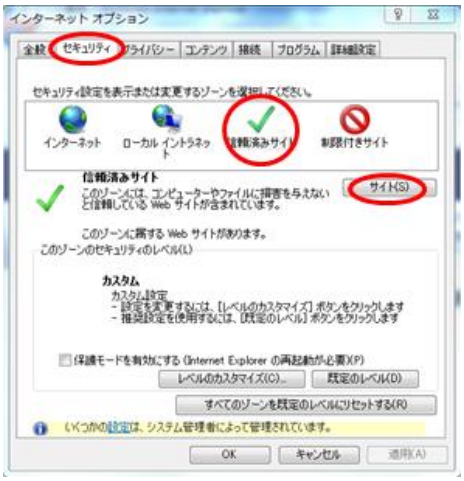
2 章③④の確認にて、正常でない場合のみ実施ください。

① インターネットエクスプローラー右上の ⚙ をクリックし、「インターネットオプション(O)」を選択
② [セキュリティ]タブの[信頼済みサイト（チェックマーク）]ゾーンのアイコンをクリック
③ 下の[サイト(S)]ボタンをクリック
④ [この Web サイトをゾーンに追加する(D)]の欄に、以下の URL が出現するので「追加(A)」ボタンをクリックして、下の[Web サイト(W)]に登録し、[閉じる(C)

[ホワイトリストをご利用の薬局]　https://www.healthcareit-services.com

[ホワイトリストをご利用でない薬局]　https://www.healthcare-note.com

⑤ 画面下の[OK]をクリックして閉じる



・信頼済みサイトは、上記 Web サイトに加えて、「https://chk4.me」の追加も実施ください。

3.1.5　お気に入り（ブックマーク・ショートカット）の登録

次回以降のアクセスが容易になるように、スマート薬局 受付・呼出 Web アプリのサービスサイトを、「お気に入り」にブックマーク追加したり、ショートカットをデスクトップ上に作成すると便利です。

■「お気に入り」にブックマークを追加

IEの右上の★をクリックし、「お気に入りに追加」をクリック　→「ヘルスケア手帳_スマート薬局」などに変更
→「追加」

■ショートカットをデスクトップ上に作成

IEの URL 表示欄の左端マーク　　を Windows のデスクトップへ、ドラッグ＆ドロップして貼り付け
アイコン名称を、「ヘルスケア手帳_スマート薬局」などに変更

《注意》

・ショートカットの作成において、Web アプリ画面を右クリックして、「ショートカットの作成」による方法を利用しないでください。

・右クリックする画面位置により、正しい URL が認識されません。画面上部の青帯が表示されない状態等になります。必ずショートカット先が下記のサービスサイト URL であることを確認ください。

■■■ブックマーク先をご確認ください■■■

（1）スマート薬局　受付・呼出 Web アプリサービスサイト URL

［ホワイトリストをご利用の薬局］

https://www.healthcareit-services.com/SmartPharmacy/receptionViewer

［ホワイトリストをご利用でない薬局］

https://www.healthcare-note.com/SmartPharmacy/receptionViewer

■「チェック・フォー・ミー（chk4.me）」サイトのブックマーク

IE の URL 表示欄に「https://chk4.me/」と入力し、同様に、「お気に入り」にブックマークとしてサイトを追加しておくと便利です。説明画面の 5 秒後に、同意画面が出現し、「同意する」へ遷移すると、右図の画面（ワンタイムパスワードが表示）が表示されることを確認します。

☆ ・同意画面での「同意する」は、お客様が一読の上、お客様ご自身に操作してもらってください。

・通常は、スマート薬局 受付・呼出 Web アプリを利用していると、「チェック・フォー・ミー」を利用する機会はありませんが、念のためブックマークの設定をお願いします。

3.1.6　ID/パスワードの記憶

スマート薬局 受付・呼出 Web アプリの ID／パスワードは、セキュリティ上記憶させておくことは望ましくありませんが、オートコンプリートの有効設定で候補表示をさせることが可能です。

《参考》

下記の Web ブラウザの設定仕様に従って表示する操作手順を示します。**ただし、設定後はブラウザ全体の設定が変わってしまいますので、自己責任でお願いします。**

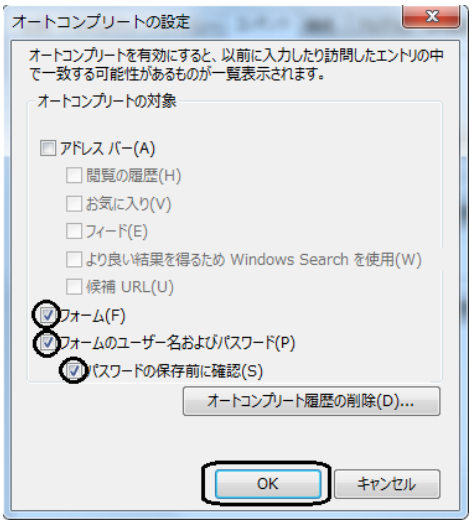
空欄をクリックすると過去に入力した候補が出て選択できます

この設定を行うと、
・ID 欄をクリックすると既存入力の候補が出てきます
・ID 入力後は自動的にパスワードが入力されます

・既に ID/パスワードの保存設定になっている場合は下記の作業は不要です。

Pharnes **サーバ機**に対しては、オートコンプリート表示は仕組み上できません。
Pharnes のクライアント機等のみとなります。

① インターネットエクスプローラー右上の ⚙ をクリックし、「インターネットオプション」を選択
② 「プライバシー」タブでインターネットゾーンが、中または中-高になっていることを確認
③ 「コンテンツ」タブの「オートコンプリート」で「設定」ボタンをクリック
④「フォーム」「フォームのユーザー名およびパスワード」「パスワードの保存前に確認」にチェックを入れ、「OK」をクリック
⑤ インターネットオプション」画面で、「適用」ボタンをクリック
⑥ ログイン画面で ID をクリックすると候補表示が出ることを確認
⑦ パスワードを入力後に「このパスワードを保存しますか」という通知バーで「はい」をクリック
⑧ ログイン画面で問題ないことを確認



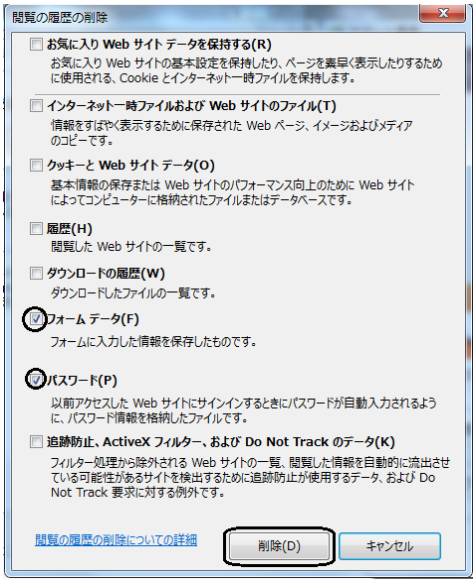
・⑥で うまくパスワードが出ない場合は、③④のところで「オートコンプリート履歴の削除」で
「フォームデータ」や「パスワード」にチェックを入れて「削除」ボタンをクリックしてください

・削除時はくれぐれもご注意の上で作業をお願いします。

・Pharnes **サーバ機**に対しては、オートコンプリート表示は仕組み上できません。

・⑦で「このパスワードを保存しますか」という通知バーが出ない場合は、過去に一度、「このサイトではしない」を選んでしまったために通知バーが出ない設定になっている可能性があります。

■「パスワードを保存しますか？」の通知バーをもう一度復活させる方法
・ログイン時に、使用者 ID の先頭字を入れると、候補がプルダウンリストの中に出てきます。
「↓」キーを押し、プルダウンリスト中の一つの使用者 ID を選択状態にして、「Del」キーを押し、
プルダウンリストの候補を一旦消します。
・再度、使用者 ID をキーボードから入力し、パスワードも入力すると、
「パスワードを保存しますか？」の通知バーが復活するので、「はい」を選びます。

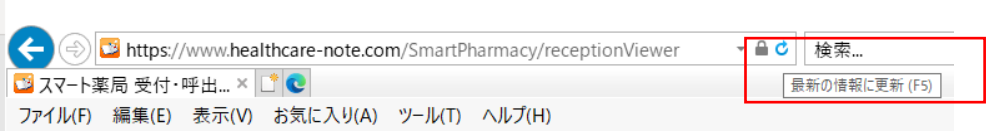


3.1.7　画面表示更新

スマート薬局 受付・呼出 Web アプリの表示が、途中で途切れて表示されたり、画面が更新されないことがある場合には、読込情報の再取得や強制更新を行うと、状況が改善することがあります。内容が古いと感じられる場合にはお試しください。

Internet Explorer では、次の手順で実施してください。

表示更新　　メニュー操作　：メニュー → 表示 → 最新の情報に更新　または、
キーボード操作：F5 キー
ボタン操作：　ウェブブラウザーでは「アドレスバー」の中や近くに、矢印が一回転したような形状の「更新」ボタンがあり、このボタンをクリックあるいはタップすればページを「更新」できます。



強制更新　キーボード操作：　Ctrl　＋　F5 キー　(Ctrl キーを押しながら F5 キーを押す)

3.1.8　キャッシュの削除とブラウザ再起動

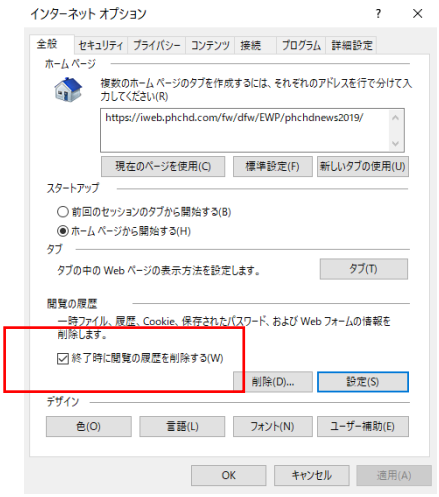
上記 3.1.7 でも、表示が解消されない場合であれば、ブラウザのキャッシュクリアを行うと、状況が改善することがあります。

Internet Explorer では、次の手順で、キャッシュクリアを実施のうえ、ブラウザを再起動ください。

1. [ツール](「インターネット オプション」または「セーフティ」)をクリックします。
2. [閲覧の履歴]から[削除]ボタンをクリックします。
3. [インターネット一時ファイルおよび Web サイトのファイル]のみチェックをし[削除]ボタンをクリックします。

ブラウザ終了時にキャッシュをクリアする設定をしておくと、状況が改善されることがありますので、設定されることをお勧めします。

1. [ツール](「インターネット オプション」または「セーフティ」)をクリックします。
2. [閲覧の履歴]にある、[終了時に閲覧の履歴を削除する]が、チェックされているかを確認します。チェックされていなければ、クリックしてチェックされた状態にします。
3. OK をクリックして、設定を反映します。



ブラウザ(Google Chrome) の設定

3.2 章では、ブラウザとして GoogleChrome をご使用される場合の設定について、説明します。

・ログインする端末 全機に設定ください。

3.2.1 バージョンの確認

① Google Chrome 右上の ⋮ をクリックし、「ヘルプ」を選択し、「Google Chrome について」を選択する。

② バージョンを確認します。

もし、最新版ですという記載でなければ、バージョンアップを実施ください。なお、最新版の確認やバージョンアップ操作における GoogleChrome へのアクセスが許可されている必要があります。薬局通信設定のエラーが表示される場合には、薬局本部の方針に従い、バージョンアップを実施する、しないをご判断ください。

3.2.2　ポップアップブロックの無効化　〈2 章④正常でない場合に実施〉

2 章④の確認にて、正常でない場合のみ実施ください。
Google chrome のバージョンによって、表示が異なる場合があります。

① Google Chrome 右上の ⋮ をクリックし、「設定」を選択します。

② 左側メニューの[プライバシーとセキュリティ]タブを選択します。

③ 項目の[サイトの設定]を選択します。

④ 最下部のコンテンツまで、スクロールします。

⑤ ”ポップアップブロックとリダイレクト“ を選択します。

⑥ 設定内容を確認します。選択後表示される画面は GoogleChrome のバージョンによって、次のように表示が異なることがあります。

・“ブロック（推奨）“と先頭に表示されている場合

・“ポップアップを送信して～”と先頭に表示されている場合

すべてのサイトでポップアップを許可する場合には、ブロック(推奨)を OFF に、サイトがポップアップの通信を送信したりリダイレクトを使用で来たりするをチェックしてください。

サイトごとにポップアップの許可を与える場合には、以下の手順を実施してください。

⑦ サイトにポップアップを使用できるように許可を与えます。

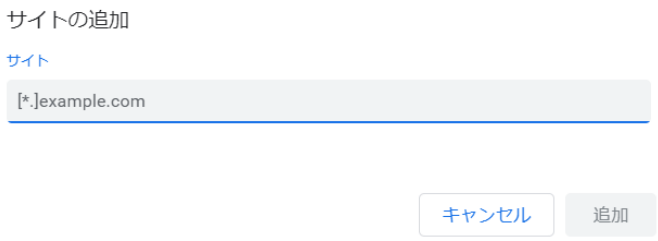
・“ブロック（推奨）“と先頭に表示されている場合

「許可」の項目の　追加ボタンを選択

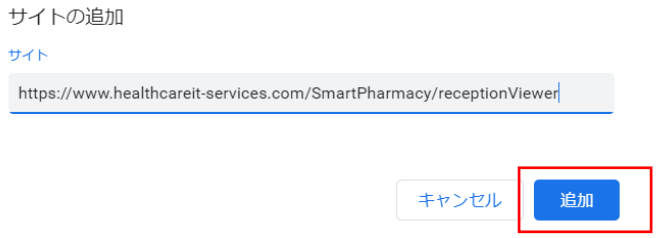
・“ポップアップを送信して～”と先頭に表示されている場合

「ポップアップの送信やリダイレクトの使用を許可するサイト」の項目の追加ボタンを選択

⑧ 表示された“サイトの追加”に下記サイト名をコピーペーストし、追加ボタンを選択



[ホワイトリストをご利用の薬局]
https://www.healthcareit-services.com/SmartPharmacy/receptionViewer
[ホワイトリストをご利用でない薬局]
https://www.healthcare-note.com/SmartPharmacy/receptionViewer



⑨ サイト名が”許可”に登録されたことを確認します。

⑩ 2.1 章の③の項目で、ポップアップが表示されるようになったことを確認します。

3.2.3 Java Script 有効化の設定 〈2 章③正常でない場合に実施〉

2 章③の確認にて、正常でない場合のみ実施ください。
Google chrome のバージョンによって、表示が異なる場合があります。

① 3.2.2①～④を実施し、3.2.2⑤の画面を表示します。JavaScript を選択します

② 選択後表示される画面は GoogleChrome のバージョンによって、次のように表示が異なることがありますので、いずれか確認します。

・先頭の表記が“ブロック中”:

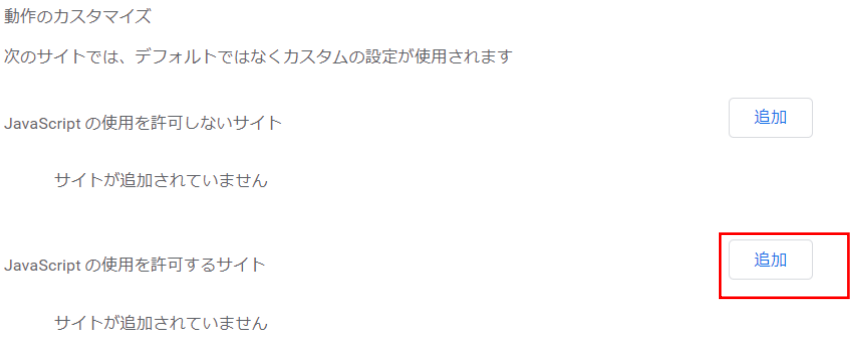
・先頭の表示が“多くのサイトは、(中略) JavaScript を使用します。”:

すべてのサイトで JavaScript を有効にする場合には、「ブロック中を ON」または、「サイトが JavaScript を使用できるようにするにチェック」してください。サイトごとに許可を与える場合は、次の手順を実施ください。

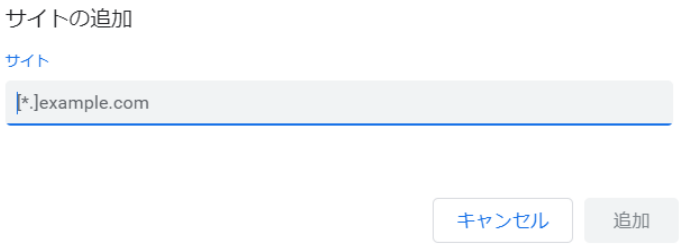
③ サイトに Java Script の許可を与えます。

・先頭の表記が“ブロック中”の場合: “許可“の項目の追加を選択します。

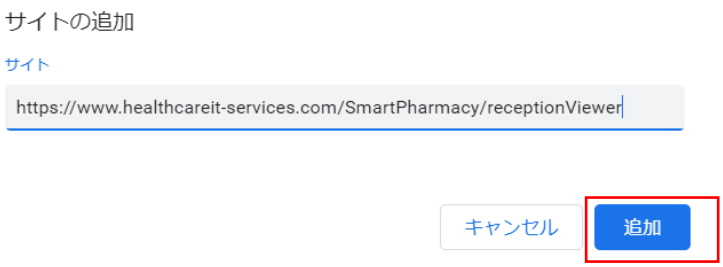
・先頭の表示が“多くのサイトは、(中略) JavaScript を使用します。”の場合:
“JavaScript の使用を許可するサイト”の追加を選択します。



④ 表示された“サイトの追加”に下記サイト名をコピーペーストし、追加ボタンを選択



〔ホワイトリストをご利用の薬局〕
https://www.healthcareit-services.com/SmartPharmacy/receptionViewer
〔ホワイトリストをご利用でない薬局〕
https://www.healthcare-note.com/SmartPharmacy/receptionViewer



⑤ サイト名が登録されていることを確認します。
・“ブロック中”の画面の場合

・“Java Script の使用を許可するサイト“の場合

⑥ 2. 1章③の項目で、正常に表示されるかを確認ください。

“サイトが JavaScript“ ”許可 “されているにもかかわらず、2 章③の確認でエラーが出ている場合には、3.2.7 画面表示の更新 または 3.2.8 キャッシュクリア をお試しください。

・もし、 “許可するサイト”にたくさんのサイト登録が既にあり、スマート薬局のサイトが登録されているか探しにくい時は、上部の検索から、スマート薬局のサイト名の一部(例えば healthcare)を入力すれば、表示が絞り込まれます。

3. 2. 4 信頼済サイトへの登録 〈2 章③④正常でない場合に実施〉

Pharnes 端末では、既に信頼済サイトへの登録はデフォルト設定されています。
他のご利用 PC 端末で設定が必要です。

2 章③④の確認にて、正常でない場合のみ実施ください。

① Chrome 右上の ⋮ をクリックし、「設定」を選択

② 左側の「設定メニュー」の、「詳細設定」を選択し、開かれたメニューからさらに「システム」を選択

③ さらに、「システム」の項目中 「パソコンのプロキシ設定を開く」を選択

④ 新たに開く“設定”の右メニューの中の、「イーサネット」を選択

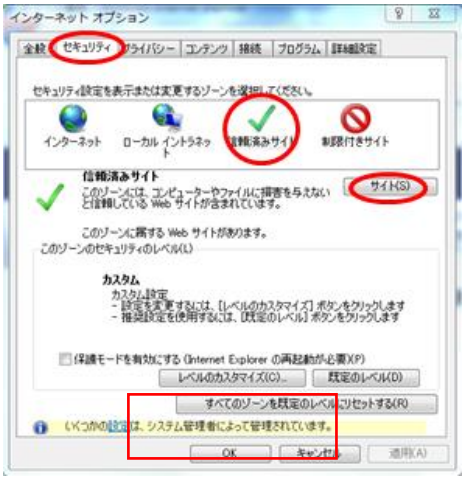
⑤ 「イーサネット」の関連設定の「ネットワークと共有センター」を選択

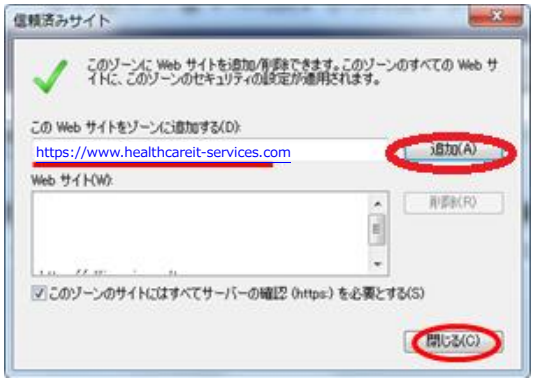
⑥ 「ネットワークと共有センター」の関連設定の「インターネットオプション」を選択

⑦ 「セキュリティ」を選択し、「信頼済みサイト」を選択し、「サイト」を選択し、[この Web サイトをゾーンに追加する(D)]の欄に、以下の URL が出現するので「追加(A)」ボタンをクリックして、下の[Web サイト(W)]に登録し、[閉じる(C)]

[ホワイトリストをご利用の薬局]
https://www.healthcareit-services.com
[ホワイトリストをご利用でない薬局]
https://www.healthcare-note.com

⑧画面下の[OK]をクリックして閉じる





・信頼済みサイトは、上記に加えて、「**https://chk4.me**」の追加も実施ください。

3.2.5　お気に入り（ブックマーク・ショートカット）の登録

次回以降のアクセスが容易になるように、スマート薬局 受付・呼出 Web アプリのサービスサイトを、「お気に入り」にブックマーク追加したり、ショートカットをデスクトップ上に作成すると便利です。

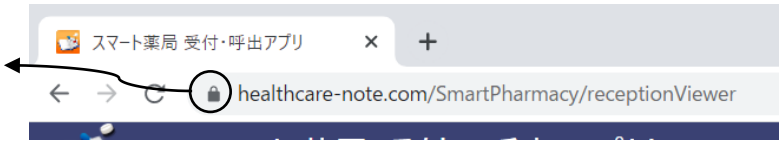
■「お気に入り」にブックマークを追加

chrome の右上の☆をクリックして、「ブックマークに追加」をクリックして★にして、 →「ヘルスケア手帳_スマート薬局」などに変更 →「追加」

■ショートカットをデスクトップ上に作成

Chrome の URL 表示欄の左端マーク を Windows のデスクトップへ、ドラッグ＆ドロップして貼り付け

アイコン名称を、「ヘルスケア手帳_スマート薬局」などに変更



このアイコン部分をデスクトップへドラッグ＆ドロップして、ショートカットを作成

《注意》

・ショートカットの作成において、Web アプリ画面を右クリックして、「ショートカットの作成」による方法を利用しないでください。

・右クリックする画面位置により、正しい URL が認識されません。画面上部の青帯が表示されない状態等になります。必ずショートカット先が下記のサービスサイト URL であることを確認ください。

■■■ブックマーク先をご確認ください■■■

（1）スマート薬局　受付・呼出 Web アプリサービスサイト URL

[ホワイトリストをご利用の薬局]

https://www.healthcareit-services.com/SmartPharmacy/receptionViewer

[ホワイトリストをご利用の薬局]

https://www.healthcare-note.com/SmartPharmacy/receptionViewer

■「チェック・フォー・ミー（chk4.me）」サイトのブックマーク

Chrome の URL 表示欄に「https://chk4.me/」と入力し、同様に、「お気に入り」にブックマークとしてサイトを追加しておくと便利です。説明画面の 5 秒後に、同意画面が出現し、「同意する」へ遷移すると、右図の画面（ワンタイムパスワードが表示）が表示されることを確認します。

☆ ・同意画面での「同意する」は、お客様が一読の上、お客様ご自身に操作してもらってください。

・通常は、スマート薬局 受付・呼出 Web アプリを利用していると、「チェック・フォー・ミー」を利用する機会はありませんが、念のためブックマークの設定をお願いします。

3.2.6　ID/パスワードの記憶

スマート薬局 受付・呼出 Web アプリの ID／パスワードは、セキュリティ上記憶させておくことは望ましくありませんが、「パスワードの自動入力」の有効設定で候補表示をさせることが可能です。

《参考》
下記の Web ブラウザの設定仕様に従って表示する操作手順を示します。**ただし、設定後はブラウザ全体の設定が変わってしまいますので、自己責任でお願いします。**

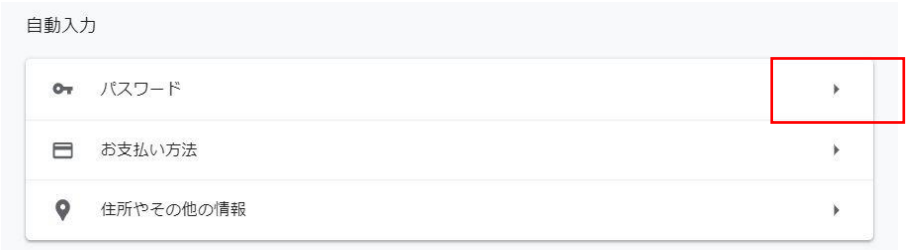
この設定を行うと、
・ID 欄をクリックすると既存入力の候補が出てきます
・ID 入力後は自動的にパスワードが入力されます

・既に ID/パスワードの保存設定になっている場合は下記の作業は不要です。

Pharnes サーバ機に対しては、オートコンプリート表示は仕組み上できません。
Pharnes のクライアント機等のみとなります。

① Chrome　右上の ⋮ をクリックし、「設定」を選択

② 右側メニューの「自動入力」を選択　さらに「自動入力」の中から「パスワード」を選択



③ 「パスワードを保存できるようにする」および「自動ログイン」のスイッチを ON に変更する。

④ ←から戻ります。

⑤ スマート薬局　ログイン画面で ID をクリックすると候補表示が出ることを確認

⑥ パスワードを入力後に「このパスワードを保存しますか」という通知バーで「はい」をクリック

⑦ ログイン画面で問題ないことを確認

・⑤で うまくパスワードが出ない場合は、保存されているパスワードを削除し、再度保存してください。

・削除時はくれぐれも、下記サイトを参照の上、ご注意の上で作業をお願いします。

「GoogleChrome ヘルプ　パスワードを管理する」

https://support.google.com/chrome/answer/95606?co=GENIE.Platform%3DDesktop&hl=ja

・Pharnes サーバ機に対しては、オートコンプリート表示は仕組み上できません

3.2.7　画面表示更新

スマート薬局 受付・呼出 Web アプリの表示が、途中で途切れて表示されたり、画面が更新されないことがある場合には、読込情報の再取得や強制更新を行うと、状況が改善することがあります。内容が古いと感じられる場合にもお試しください。

Google Chrome では、次の手順で実施してください。

表示更新　　キーボード操作:　F5 キー　または　Ctrl　+ R　(Ctrl キーを押しながら R を押す)

ボタン操作:　　ウェブブラウザーでは「アドレスバー」の中や近くに、矢印が一回転したような形状の「更新」ボタンがあり、このボタンをクリックあるいはタップすればページを「更新」できます。

強制更新　キーボード操作：　Ctrl　＋　F5 キー　(Ctrl キーを押しながら F5 キーを押す)

3.2.8　キャッシュの削除とブラウザ再起動

上記 3.2.7 でも、表示が解消されない場合であれば、ブラウザのキャッシュクリアを行うと、状況が改善することがあります。

Google Chrome では、次の手順で、キャッシュクリアを実施のうえ、ブラウザを再起動ください。

1. [Google Chrome の設定]アイコンをクリックします。
2. [設定」から[プライバシーとセキュリティ]を選択します。
3. [プライバシーとセキュリティ]内で[閲覧履歴データの消去]を選択します。
4. [キャッシュされた画像とファイル]チェック・ボックスを選択します。消去する期間を選択します。
5. [データを削除]をクリックします。

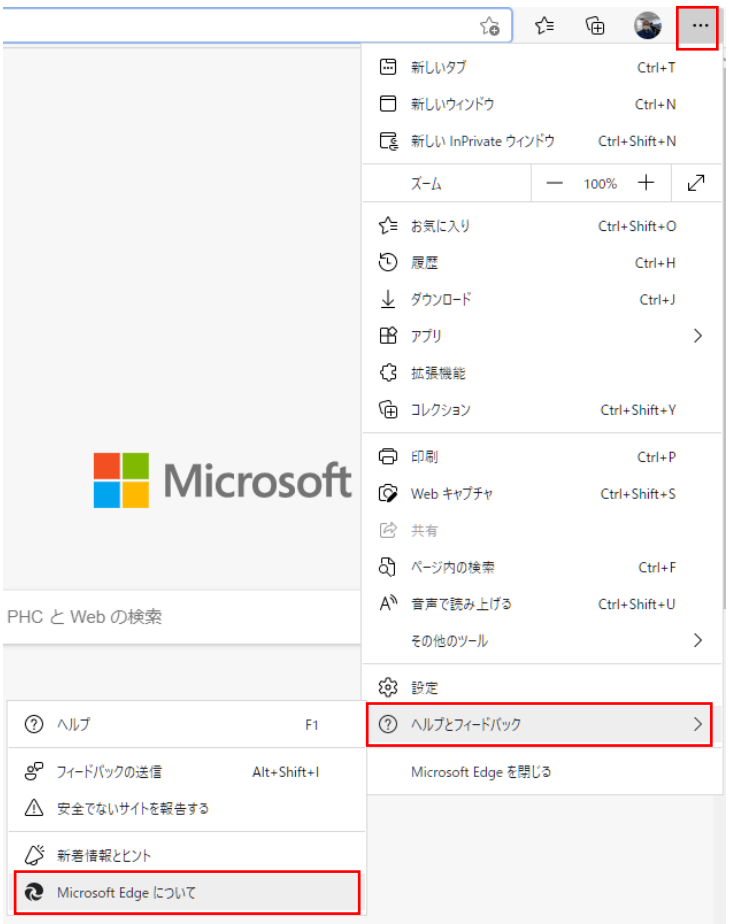
ブラウザ(Microsoft Edge) 各種設定

3.3 章では、ブラウザとして Microsoft Edge をご使用される場合の設定について、説明します。

・ログインする端末 全機に設定ください。

3.3.1 バージョンの確認

① Microsoft Edge 右上の「…」をクリックし、「設定」を選択、「ヘルプとフィードバック」を選択し、「MicrosoftEdge についてを選択する



② 左側の「設定メニュー」最下部の、「Microsoft Edge について」を選択

③ バージョンを確認します。

バージョンが 77 未満であれば、旧 MicrosoftEdge ですので、2021 年 3 月 9 日をもってマイクロソフトによるサポートが終了しております。最新版の Chromium 版 Edge をインストールください。

また、**「MicrosoftEdge は最新です」という記載でなければ、バージョンアップを実施ください。**なお、最新版の確認やバージョンアップ操作における MicrosoftEdge へのアクセスが許可されている必要があります。薬局通信設定のエラーが表示される場合には、薬局本部の方針に従い、バージョンアップを実施する、またはしないをご判断ください。

3.3.2　ポップアップブロックの無効化<2 章④正常でない場合に実施>

2 章④の確認にて、正常でない場合のみ実施ください。

① Microsoft Edge 右上の ··· をクリックし、「設定」を選択

② 左上の ≡ をクリックすると表示されるメニューから[Cookie とサイトのアクセス許可]を選択します。

③ 右側の[サイトのアクセス許可]を下部にスクロールし、「ポップアップとリダイレクト」を選択します。

④ 設定内容を確認します。

すべてのサイトに対して、ポップアップを許可する場合には、“ブロック（推奨）“を OFF に設定してください。

サイトごとにポップアップを許可する場合には、⑤以降の手順を実施してください。

⑤ 許可を選択します。

⑥ “サイトの追加”に下記サイト名をコピーペーストし、追加ボタンを選択

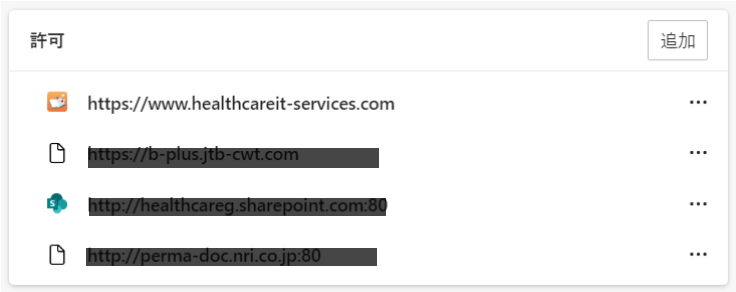
[ホワイトリストをご利用の薬局]

https://www.healthcareit-services.com/SmartPharmacy/receptionViewer

[ホワイトリストをご利用でない薬局]

https://www.healthcare-note.com/SmartPharmacy/receptionViewer

⑦ サイト名が”許可”に登録されたことを確認します。



⑧ 2.1 章の④の項目で、ポップアップが表示されるようになったことを確認します。

3.3.3　Java Script 有効化の設定　〈２章③正常でない場合に実施〉

2 章③の確認にて、正常でない場合のみ実施ください。

① Microsoft Edge 右上の ･･･ をクリックし、「設定」を選択

② 左上の ☰ をクリックすると表示されるメニューから[Cookie とサイトのアクセス許可]を選択します。

③ 右側の[サイトのアクセス許可]を下部にスクロールし、「Java Script」を選択します。

④ 設定内容を確認します。

すべてのサイトに JavaScript を許可する場合には、“許可(推奨) “を ON に設定してください

サイトごとに許可を与える場合には、次の手順でサイトの Java Script に許可を与えてください。

⑤ ”許可”の項目の 追加ボタンを選択

⑥ 表示された“サイトの追加”に下記サイト名をコピーペーストし、追加ボタンを選択

[ホワイトリストをご利用の薬局]
https://www.healthcareit-services.com/SmartPharmacy/receptionViewer
[ホワイトリストをご利用でない薬局]
https://www.healthcare-note.com/SmartPharmacy/receptionViewer

⑦ サイト名が”許可”に登録されたことを確認します。

⑧ 2.1 章の③の項目で、正常に表示されるようになったことを確認します。

3.3.4 信頼済サイトへの登録 〈2 章③④正常でない場合に実施〉

Pharnes 端末では、既に信頼済サイトへの登録はデフォルト設定されています。
他のご利用 PC 端末で設定が必要です。

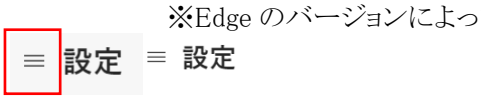
2 章③④の確認にて、正常でない場合のみ実施ください。

① Microsoft Edge 右上の ··· をクリックし、「設定」を選択

② 左上の ☰ をクリックし表示される「設定メニュー」の、「システム」を選択

③ 右側の「システムとパフォーマンス」※からさらに「パソコンのプロキシ設定」を選択

※Edge のバージョンによっては「システム」を選択ください



④ 新たに表示された“設定”の右メニューの中の、「イーサネット」を選択

⑤ 「イーサネット」の関連設定の「ネットワークと共有センター」を選択

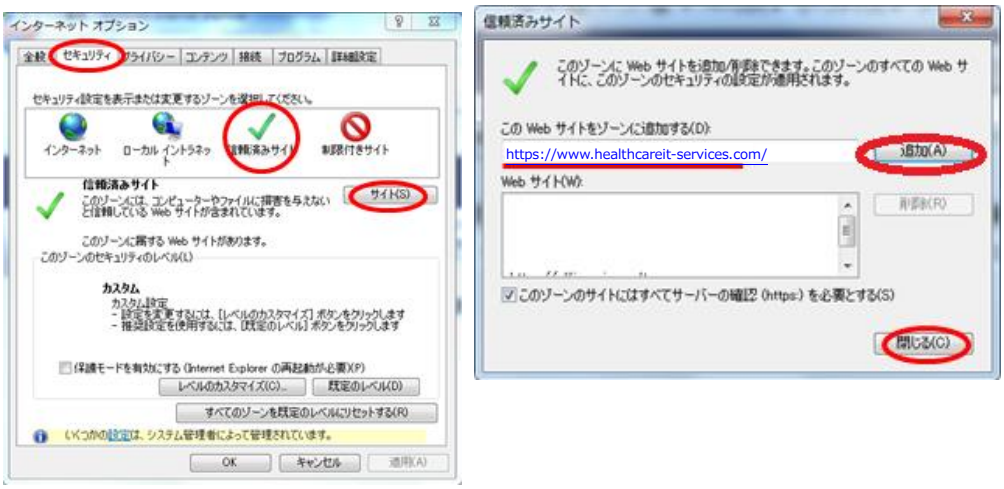
⑥ 「ネットワークと共有センター」の、関連設定の「インターネットオプション」を選択

⑦ 「信頼済みサイト」を選択し、[この Web サイトをゾーンに追加する(D)]の欄に、以下の URL が出現するので「追加(A)」ボタンをクリックして、下の[Web サイト(W)]に登録し、[閉じる(C)

[ホワイトリストをご利用の薬局] https://www.healthcareit-services.com

[ホワイトリストをご利用でない薬局] https://www.healthcare-note.com

⑧ 画面下の[OK]をクリックして閉じる



・信頼済みサイトは、上記に加えて、「https://chk4.me」の追加も実施ください。

3.3.5　お気に入り（ブックマーク・ショートカット）の登録

次回以降のアクセスが容易になるように、スマート薬局 受付・呼出 Web アプリのサービスサイトを、「お気に入り」にブックマーク追加したり、ショートカットをデスクトップ上に作成すると便利です。

■「お気に入り」にブックマークを追加

Edge の右上の★をクリックし、「お気に入りに追加」をクリック → 「ヘルスケア手帳_スマート薬局」などに変更 → 「完了」

■ショートカットをデスクトップ上に作成

Edge の URL 表示欄の左端マーク を Windows のデスクトップへ、ドラッグ＆ドロップして貼り付け

アイコン名称を、「ヘルスケア手帳_スマート薬局」などに変更

《注意》

・ショートカットの作成において、Web アプリ画面を右クリックして、「ショートカットの作成」による方法を利用しないでください。

・右クリックする画面位置により、正しい URL が認識されません。画面上部の青帯が表示されない状態等になります。必ずショートカット先が下記のサービスサイト URL であることを確認ください。

■■■ブックマーク先をご確認ください■■■

（1）スマート薬局　受付・呼出 Web アプリサービスサイト URL

[ホワイトリストをご利用の薬局]

https://www.healthcareit-services.com/SmartPharmacy/receptionViewer

[ホワイトリストをご利用でない薬局]

https://www.healthcare-note.com/SmartPharmacy/receptionViewer

■「チェック・フォー・ミー（chk4.me）」サイトのブックマーク

Edge の URL 表示欄に「https://chk4.me/」と入力し、同様に、「お気に入り」にブックマークとしてサイトを

追加しておくと便利です。説明画面の 5 秒後に、同意画面が出現し、「同意する」へ遷移すると、
右図の画面（ワンタイムパスワードが表示）が表示されることを確認します。

・同意画面での「同意する」は、お客様が一読の上、お客様ご自身に操作してもらってください。
・通常は、スマート薬局　受付・呼出 Web アプリを利用していると、「チェック・フォー・ミー」を利用する機会はありませんが、念のためブックマークの設定をお願いします。

3.3.6　ID/パスワードの記憶

スマート薬局　受付・呼出 Web アプリの ID／パスワードは、セキュリティ上記憶させておくことは望ましくありませんが、オートコンプリートの有効設定で候補表示をさせることが可能です。

《参考》
下記の Web ブラウザの設定仕様に従って表示する操作手順を示します。**ただし、設定後はブラウザ全体の設定が変わってしまいますので、自己責任でお願いします。**

空欄をクリックすると過去に入力した候補が出て選択できます

この設定を行うと、
・ID 欄をクリックすると既存入力の候補が出てきます
・ID 入力後は自動的にパスワードが入力されます

・既に ID/パスワードの保存設定になっている場合は下記の作業は不要です。

Pharnes **サーバ機**に対しては、オートコンプリート表示は仕組み上できません。
Pharnes のクライアント機等のみとなります。

① Microsoft　Edge　…　右上の　　をクリックし、「設定」を選択
② 「パスワード」を選択

③ 「パスワードの保存を提案」を ON に変更し、「サインイン」を自動的に確認するをチェックする。

④ ←から戻ります。

⑤ ログイン画面で ID をクリックすると候補表示が出ることを確認

⑥ パスワードを入力後に「このパスワードを保存しますか」という通知バーで「はい」をクリック

⑦ ログイン画面で問題ないことを確認

・⑥で うまくパスワードが出ない場合は、③で「保存されているパスワード」を確認し、該当するパスワードを削除してください。

・削除時はくれぐれもご注意の上で作業をお願いします。

・Pharnes サーバ機に対しては、オートコンプリート表示は仕組み上できません。

・⑦で 「このパスワードを保存しますか」という通知バーが出ない場合は、過去に一度、「このサイトではしない」を選んでしまったために通知バーが出ない設定になっている可能性があります。

■「パスワードを保存しますか？」の通知バーをもう一度復活させる方法
・ログイン時に、使用者 ID の先頭字を入れると、候補がプルダウンリストの中に出てきます。
「↓」キーを押し、プルダウンリスト中の一つの使用者 ID を選択状態にして、「Del」キーを押し、プルダウンリストの候補を一旦消します。
・再度、使用者 ID をキーボードから入力し、パスワードも入力すると、
「パスワードを保存しますか？」の通知バーが復活するので、「はい」を選びます

3.3.7 画面表示更新

スマート薬局 受付・呼出 Web アプリの表示が、途中で途切れて表示されたり、画面が更新されないことがある場合には、読込情報の再取得や強制更新を行うと、状況が改善することがあります。内容が古いと感じられる場合にもお試しください。

Edge では、次の手順で実施してください。

表示更新　　キーボード操作: F5 キー または Ctrl + R (Ctrl キーを押しながら R を押す)
ボタン操作: ウェブブラウザーでは「アドレスバー」の中や近くに、矢印が一回転したような形状の「更新」ボタンがあり、このボタンをクリックあるいはタップすれば

ページを「更新」できます。

強制更新　キーボード操作：　Ctrl　＋　F5 キー　(Ctrl キーを押しながら F5 キーを押す)

3.3.8　キャッシュの削除とブラウザ再起動

上記 3.3.7 でも、表示が解消されない場合であれば、ブラウザのキャッシュクリアを行うと、状況が改善することがあります。

Edge では、次の手順で、キャッシュクリアを実施のうえ、ブラウザを再起動ください。

① Microsoft Edge 右上の ··· をクリックし、「設定」を選択

② 左上の ☰ をクリックすると表示されるメニューから
[プライバシー、検索、サービス]を選択します。

③[閲覧データをクリア]の項目の[クリアするデータの選択]
ボタンをクリックします。

④[キャッシュされた画像とファイル]をチェックし、
[時間の範囲] をすべての時間を、選択します。

⑤ [今すぐクリア]ボタンをクリックします。

また、ブラウザを閉じる際に、キャッシュをクリアする設定を行っておくと、状況が改善することがありますので、設定をご検討ください。

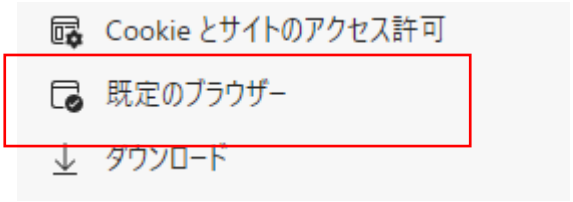
① 上記①を実施
② 上記②を実施
③ [閲覧データをクリア]の項目の「ブラウザーを閉じるたびにクリアするデータを選択する。」を選択する

④ [キャッシュされた画像とファイル]のスイッチを ON とする
⑤←から戻ります

3.3.9　IE モードの利用設定

ブラウザを IE から Edge に切り替えたら、ブラウザがバックグラウンドにあると処方箋到着時の音が鳴らない、印刷がうまくいかない等の症状が発生する場合があります。このとき、Edge の IE モードで表示することで、問題が解消することがあります。

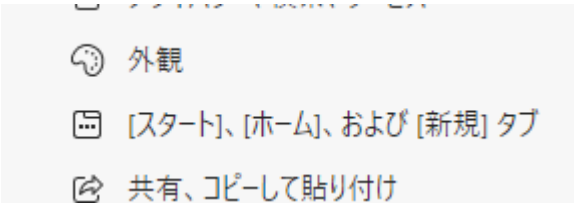
Edge の IE モードの利用のため、次の手順で設定を実施ください。



① Microsoft Edge 右上の ··· をクリックし、「設定」を選択
② 表示されるメニューから[既定のブラウザー]を選択します。
③ 「Internet Explorer モードでサイトの再読み込みを許可」を「許可」にしたら、
④ 「再起動」をクリックします。(再起動の表示がある場合のみ)
⑤ 「Internet Explorer モードページ」追加をクリックし、スマート薬局のサイト https://www.healthcare-note.com/SmartPharmacy/receptionViewer （または https;//www.healthcareit-services.com/SmartPharmacy/receptionViewer） を登録します。

上記の登録は、追加された日から 30 日間 IE モードで開きます。期限を過ぎてからも、再度 IE モードを継続したい場合には、再度上記①②⑤の手順で、サイトを再度登録する必要があります。再び 30 日間は、IE モードを継続することができます。

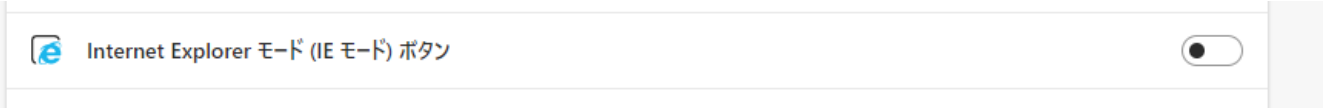
あるいは、IE モードへの切り替えボタンを表示しておくことで、いつでも IE モードへの行き来が可能となります。



① Microsoft Edge ··· 右上の をクリックし、「設定」を選択

② 表示されたメニューから「外観」を選択

③ Internet Explorer モードを ON にする。



もし、「Internet Explorer が見つかりません」という表示が出た場合には、次の手順で IE モードが利用できるようになります。(Windows10の場合)

① 「スタートボタン」を右クリックし、「設定」をクリックします。

② 「アプリ」を選択し、「オプション機能」をクリックします。

③ 「機能の追加」をクリックします。

④「Internet Explorer 11」にチェックを入れ、「インストール」をクリックします。

3.4 標準ブラウザの変更

アイコンクリック等で起動する標準のブラウザを変更する場合、次のような手順を実施してください。

Windows10 の場合

1．パソコンのスタートメニューをクリックします
2．[設定]歯車アイコンをクリックします
3．デフォルトのアプリを開きます。
[システム]または[アプリ] ＞ [規定のアプリ] の順にクリックします。
4．画面下部の[Web ブラウザ]に表示されている現在のブラウザをクリックします。
5．[アプリを選ぶ]ウィンドウで 標準とするブラウザを[例えば Google Chrome]をクリックします。
あるいは標準とするブラウザを、Microsoft Edge とする場合には、Microsoft Edge を選択ください。

Windows8.1 以前の場合

1．パソコンのスタートメニューをクリックします。
2．[コントロールパネル]をクリックします。
3．[プログラム] > [規定のプログラム] > [既定のプログラムの設定] の順にクリックします。
4．左側で、標準とするブラウザを選択します。[たとえば Google Chrome]
あるいは標準とするブラウザを、Microsoft Edge とする場合には、Microsoft Edge を選択ください。
5．[すべての項目に対し、既定のプログラムとして設定する] をクリックします。

6．[OK]をクリックします。

Pharnes 設定（PharnesV/Ⅲのみ）

4.1　管理設定ツールの適用　お願い

電子版お薬手帳連携機能を使用するにあたり、管理設定を変更する必要があります。**薬局店舗様では、作業を省力化のため、事前にメディコム販売代理店から配信の管理設定ツールを起動して適用してください。**次項目からは、管理設定ツール適用後の操作を記載しています。

4.2　Pharnes 管理設定の変更

4.2.1　電子版手帳連携設定の変更

・必ず配信された「管理設定ツール」を適用した後、下記の手順を実施ください。
・下記手順を先に実施すると、ツール適用で設定がリセットされてしまいます。

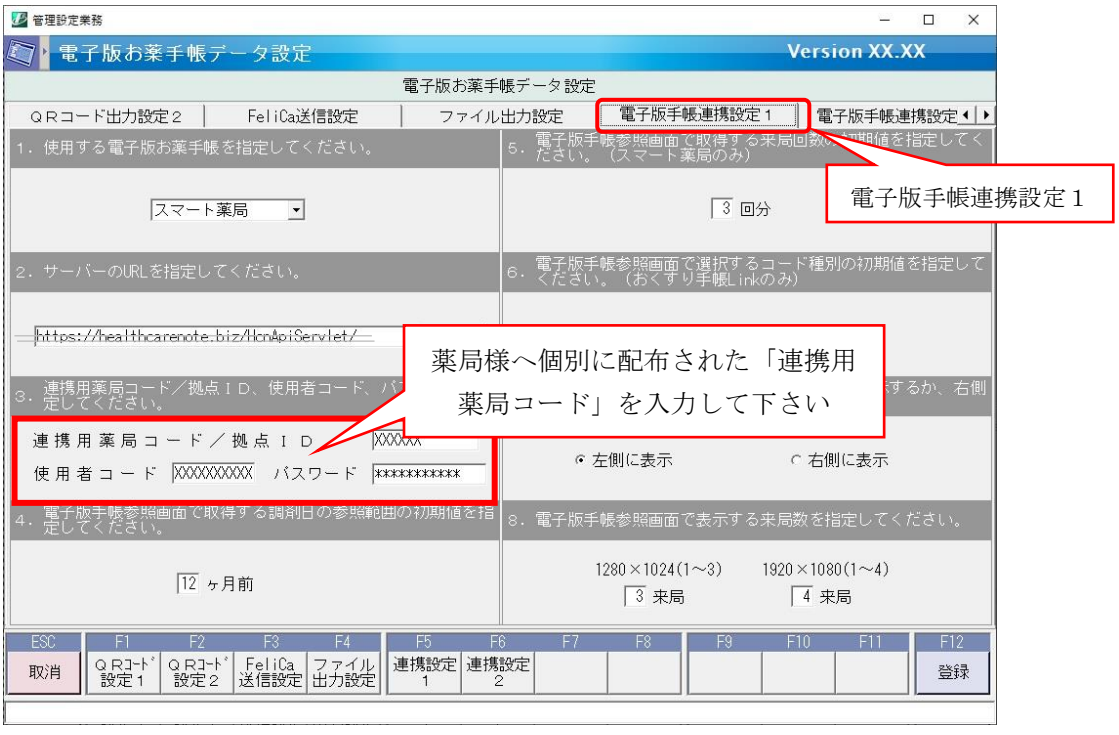
電子版お薬手帳連携機能を使用するにあたり、管理設定を変更する必要があります。下記手順に従い、管理設定を変更してください。

－操作手順－

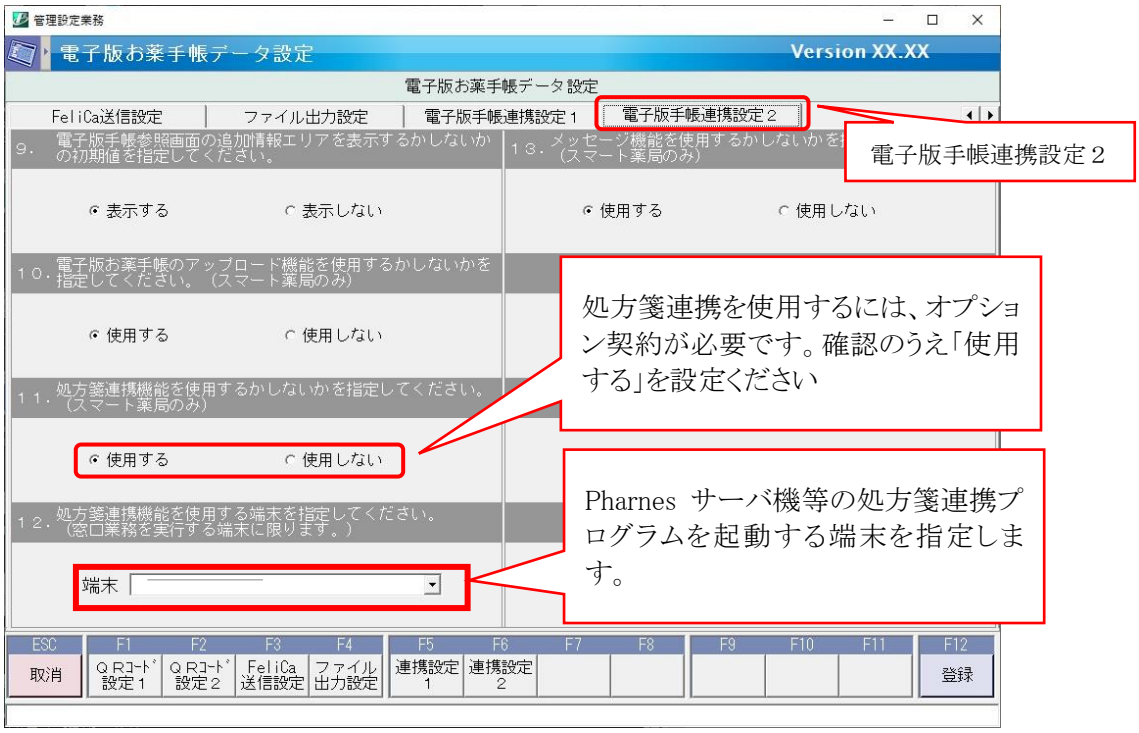
①. [管理設定業務]－[処理メニュー2]タブ－[11. オプション設定関連]－[5.電子版お薬手帳データ設定]の[電子版手帳連携設定1]タブをクリックします。

②. 下記を参考に、[電子版手帳連携設定1]タブの内容を設定します。続いて[電子版手帳連携設定2]タブの内容も設定し、【F12】(登録)をクリックします。

■電子版手帳連携設定１タブ画面



■電子版手帳連携設定２タブ画面



【OK】－【ESC】(終了)をクリックします。

・端末名がわからない場合
対象のPC端末で[コントロールパネル]－[システムとセキュリティ]
次に[システム]－[コンピューターの基本的な情報の表示]を表示させます。
その中に表示された『コンピューター名』が端末名となります。

4.2.2　電子版お薬手帳 WEB 送信　管理設定

WEB 送信機能を利用するにあたり、初期値を変更します。
管理設定ツールに盛り込まれていない機能ですので、下記の設定をお願いします。

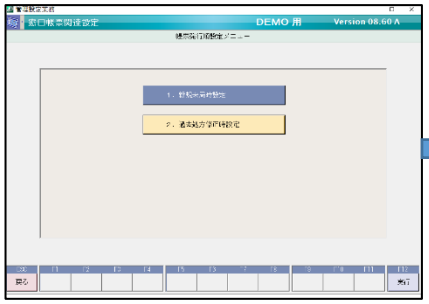
－操作手順－

① [管理設定業務]－[処理メニュー1]タブ－[4. 窓口帳票関連設定]－[1.帳票発行順]の[1.新規来局時設定]タブをクリックします。
② [帳票発行順]タブの[15 電子版お薬手帳WEB送信]欄にて
③ [保留時]と[終了時]についてそれぞれ設定します→ **「送信(有)」**

新規来局時設定

④ [管理設定業務]－[処理メニュー1]タブ－[4. 窓口帳票関連設定]－[1.帳票発行順]の[2.過去処方修正時設定]タブをクリックします。
⑤ [帳票発行順]タブの[15 電子版お薬手帳 WEB 送信]欄にて
⑥ [保留時]と[終了時]についてそれぞれ設定します。→ **「送信(無)」**

過去処方修正時設定

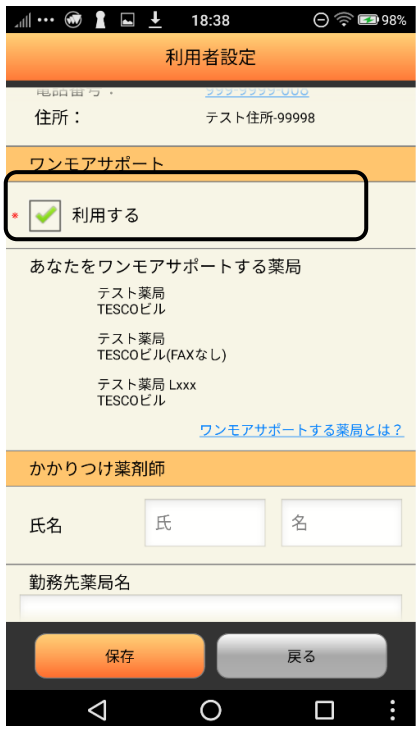


4.3 患者側(ヘルスケア手帳アプリ)の設定

Pharnes 連携を機能させるには、ヘルスケア手帳アプリ側も下記設定をおこなう必要があります。
※初期設定は、[ワンモアサポート]-【利用する】になっています。

① 患者様のヘルスケア手帳アプリを使用し、[利用者設定画面]の「ワンモアサポート」欄で、「利用する」に設定します。

②[利用者設定画面]の「ご利用薬局」を当該薬局に設定します。



※画面は Android 版アプリです

4.4　電子版お薬手帳 WEB 送信

Pharnes(レセコン)の患者番号とヘルスケア手帳のユーザ ID とが、同一のユーザであることを示す紐づけ(名寄せ)操作を実施すると、Pharnes 連携の一機能である、Pharnes に記録された患者番号の調剤(お薬情報)を、ユーザ ID の端末に直接送信する WEB 送信機能が利用できます。

具体的には、次の2つの方法で　お薬情報を送信することが可能です。

【方法1】 終会計時に本日の調剤(お薬情報)を送信する

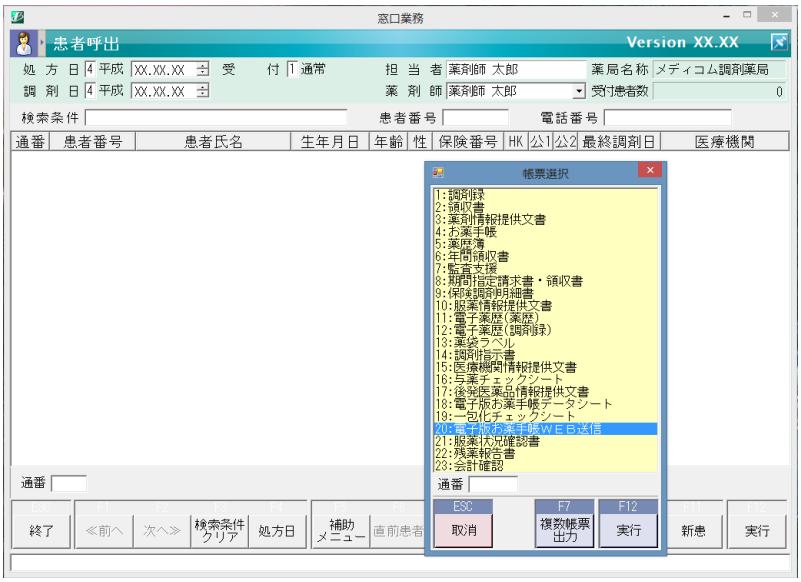
① 終会計時の[帳票発行設定画面]で「電子版お薬手帳WEB送信」を“送信(有)”に設定します。
この設定を行うと、スマホにプッシュ通知を伴い、お薬情報が送信されます。
その他の3つの選択肢がありますので、適宜選択します。

送信(無):プッシュ通知なしでお薬情報のみ送信
確認画面:確認画面で、プッシュ通知有・無、送信有・なしを選択できます。
なし:お薬情報のWEB送信しない

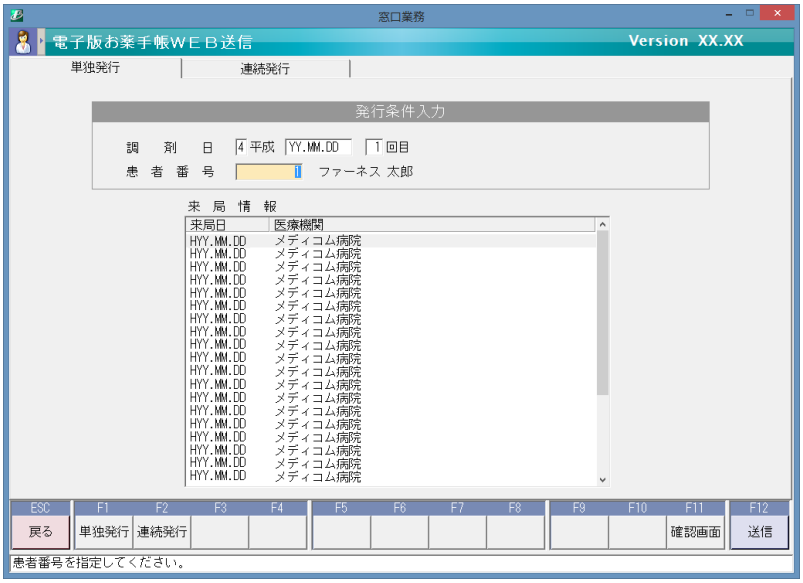
② 【F12】(実行)をクリックし、終会計を終了します。“送信(有)“または”送信(無)“と選択した場合、ヘルスケア手帳 WEB サーバーへデータが送信されます。

【方法2】 各種業務の帳票発行から送信する場合

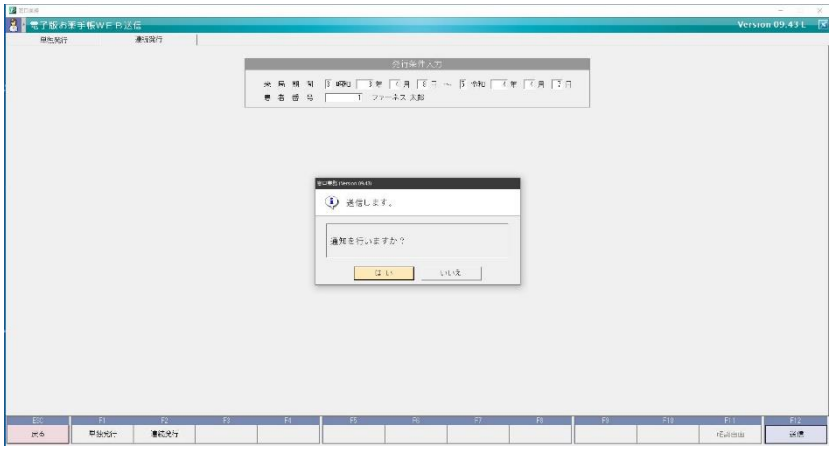
① 帳票選択ダイアログから“20:電子版お薬手帳WEB送信”を選択し、【F12】(実行)をクリックします。



②[電子版お薬手帳WEB送信画面]が表示されますので、発行条件を入力し、【F12】(送信)をクリックします。ヘルスケア手帳WEBサーバーへデータが送信されます。([連続発行タブ画面]でも同様の操作で送信可能です。)



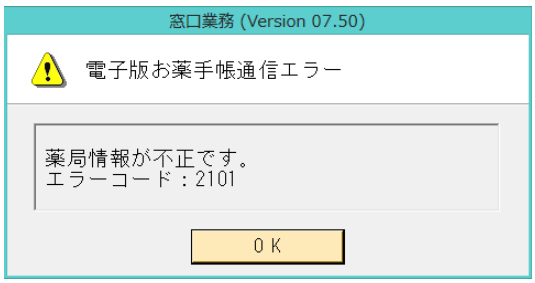
③ 【F12】(送信)に引き続き、「通知を行いますか？」という表示がおこなわれます。これは、WEB送信の際 スマホ端末にプッシュ通知を送るかどうかを確認するためプロンプトです。終会計の際の選択肢との対比すると、 この画面で「はい」を選択すると、「送信(有)」、この画面で「なし」を選択すると、「送信(無)」と同等の機能となります。



付録　エラーメッセージについて

付録 1.1　エラーコード：２１０１[薬局情報不正エラー]

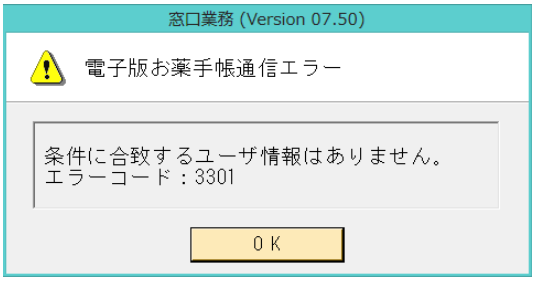
『4. 1 電子版手帳参照画面と転記方法』(P.21)で、【電子版手帳参照】ボタンを押した際などに、『2. 1　管理設定の変更』(P.5)で設定した認証コードに誤りがあると、表示されます。



メッセージ	薬局情報が不正です。
原因	『2.1　管理設定の変更』(P.5)で、設定した認証コードが登録された情報と一致しない。
対策	ヘルスケア手帳サービス事務局より発行された認証コード(連携用薬局コード、使用者コード、パスワード)を、すべて同じ値を設定するよう修正ください。

付録 1.2　エラーコード：３３０１[ユーザ情報エラー]

『4. 1 電子版手帳参照画面と転記方法』(P.21
)で、対象の患者が名寄せされていない場合に表示されます。

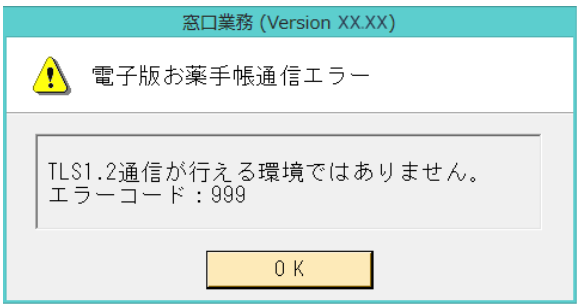


メッセージ	条件に合致するユーザ情報はありません。
原因	電子薬歴業務で選択した患者が、ヘルスケア手帳ユーザIDと名寄せされていないため、ヘルスケア手帳サーバからデータが取得できない。
対策	『3.1　患者側(ヘルスケア手帳アプリ)の設定』(P.9)にしたがって、名寄せを実施してください。

付録 1.3　エラーコード：９９９[TLS1.2 不通]

Pharnes の窓口業務の[個人情報画面]、もしくは電子薬歴業務の[患者情報画面]にて、【検索】ボタンをクリックした際に、下記のエラーメッセージが表示された場合、通信環境設定が有効でない可能性があります。

エラーメッセージが出た場合には、下記の「TLS1.2 の設定手順」を実施してください。端末を再起動した後、再度【検索】ボタンを押して、エラーメッセージが出なくなることを確認ください。

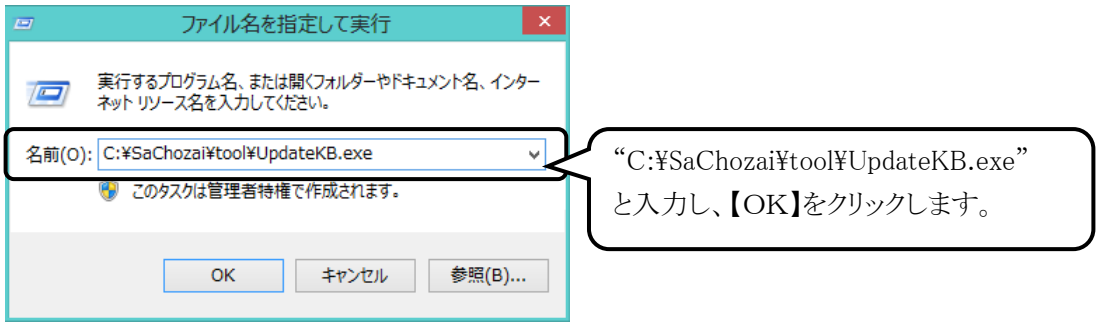


メッセージ	TLS1.2通信が行える環境ではありません。
原因	Windows OS(または .net)環境設定 において、TLS1.2が有効になっていない。
対策	下記の手順を実施してください。

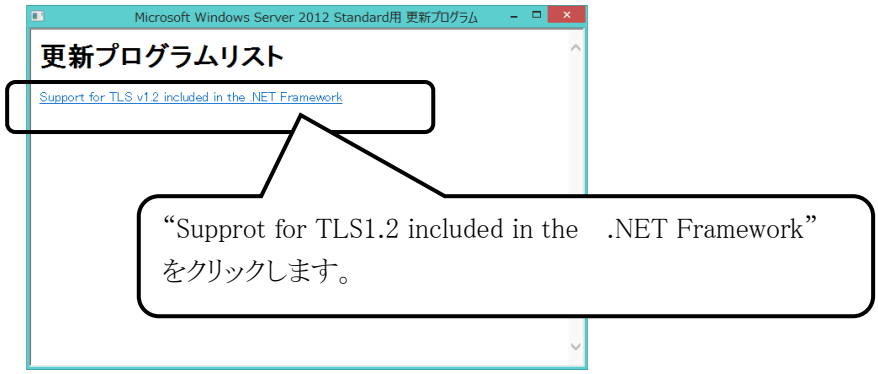
－TLS1.2 の設定手順－

①. キーボードの、【Windows】＋【R】を同時に押して、[ファイル名を指定して実行]の画面を表示します。

②.「名前」欄に、“C:¥SaChozai¥tool¥UpdateKB.exe”と入力して、【OK】をクリックします。



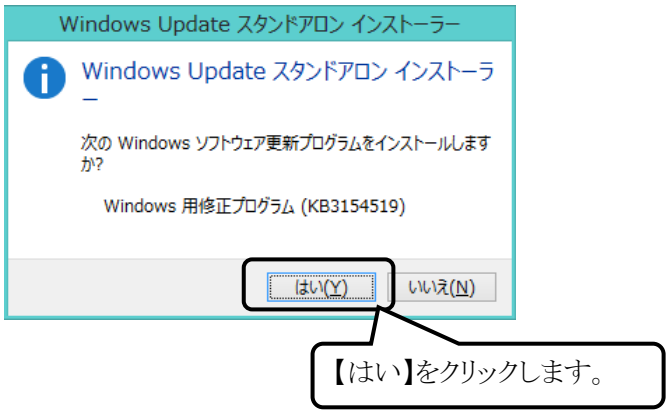
③. [更新プログラムリスト画面]が表示されますので、“Supprot for TLS1.2 included in the .NET Framework”をクリックします。



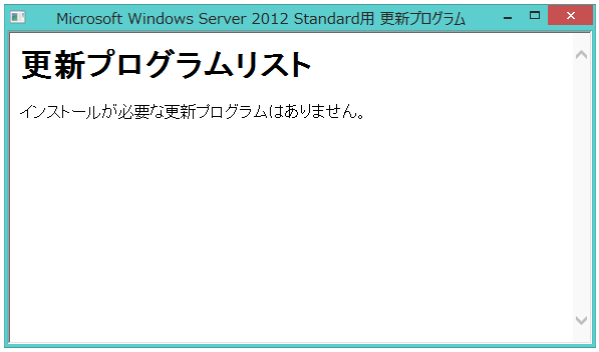
⇩
次ページに続く

前ページより
⇩

④. [Windows Update スタンドアロン インストーラー画面]が表示されますので、【はい】をクリックします。



⑤. インストールが完了しましたら、PCを再起動し、①の手順から再度実施してください。
下記のメッセージが表示されたら設定は完了です。



《補足》

手順③.にて、“support for TLS1.2 included in the .NET Framework” の表示が出現されない場合はPharnesのWindowsOSに応じて、次の表またはURLに記載のKB番号を検索し、上記④⑤同様にインストール実施してください。

TLS1.2の有効化 ： KBファイルの指定

OS	URL : Support for TLS 1.2 included in the .NET Framework
Windows 7 SP1	https://support.microsoft.com/ja-jp/help/3154518/support-for-tls-system-default-versions-included-in-the--net-framework
Windows Server 2012	https://support.microsoft.com/ja-jp/help/3154519/support-for-tls-system-default-versions-included-in-the--net-framework
Windows 8.1/ Windows Server 2012R2	https://support.microsoft.com/ja-jp/help/3154520/support-for-tls-system-default-versions-included-in-the--net-framework
Windows10(v1507)	https://support.microsoft.com/ja-jp/help/3192440/support-for-tls-system-default-versions-included-in-the--net-framework
Windows10(v1607)/ Windows Server2016	https://support.microsoft.com/ja-jp/help/3206632/support-for-tls-system-default-versions-included-in-the--net-framework
Windows 10 v1703 以降	.NET framework 3.5の有効化時にTLS1.2も有効化されます

《補足2》 上記パッチ以外にも、Windows 10 および Windows Server 2016 の場合は OS 向けの最新のロールアップを、それ以外の OS では .NET Framework 向けの最新の品質ロールアップを適用することにより、TLS1.2の有効化を行うこともできます。 Windows Update またはMicrosoft Update カタログ で、次のキーワード等により検索して最新のKBファイルを 選択し、適用ください。

Windows 10以前:
WindowsUpdateカタログ 検索式 「.NET Framework 3.5 品質 x64 年-月(例:2022-12) OS(例:Windows 8.1)」

次の表は、2022年12月度時点でのKBファイルです。

TLS1.2の有効化(Windows 10/Windows Server 2016未満) : .NET framework 3.5 品質ロールアップ

OS	タイトル
Windows Server 2012	**2022-12 Windows Server 2012 (x64 版) 用 .NET Framework 3.5、4.6.2、4.7、4.7.1、4.7.2、4.8 のセキュリティおよび品質ロールアップ (KB5021092)**
Windows 8.1	**2022-12 Windows 8.1 (x64 版) 用 .NET Framework 3.5 のセキュリティおよび品質ロールアップ (KB5020862)**
Windows Server 2012R2	**2022-12 Windows Server 2012 R2 (x64 版) 用 .NET Framework 3.5、4.6.2、4.7、4.7.1、4.7.2、4.8 のセキュリティおよび品質ロールアップ (KB5021093)**

Windows 10以降の場合、.NET framework 3.5 の累積的な更新プログラムを実施ください。

Windows Update カタログ検索式 「.NET Framework 3.5 累積 x64 年-月(例:2022-12) OS (例:Windows 10)」

次の表は、2022年12月度時点でのKBファイルです。

TLS1.2の有効化 (Windows 10/Windows Server 2016以上) : .NET framework 3.5 累積的な更新

OS	タイトル
Windows 10, version 1903 and later, Windows 10 LTSB	**2022-12 .NET Framework 3.5、4.7.2 および 4.8 の累積的な更新プログラム (x64 向け Windows 10 Version 1809 用) (KB5021085)**
	2022-12 x64 (KB5021086) 向け Windows 10 Version 20H2 用 .NET Framework 3.5、4.8 および 4.8.1 の累積的な更新プログラム
	2022-12 x64 (KB5021087) 向け Windows 10 Version 21H1 用 .NET Framework 3.5、4.8 および 4.8.1 の累積的な更新プログラム
	2022-12 x64 (KB5021088) 向け Windows 10 Version 21H2 用 .NET Framework 3.5、4.8 および 4.8.1 の累積的な更新プログラム
	2022-12 x64 (KB5021089) 向け Windows 10 Version 22H2 用 .NET Framework 3.5、4.8 および 4.8.1 の累積的な更新プログラム
Windows Server 2019	**2022-12 .NET Framework 3.5、4.7.2 および 4.8 の累積的な更新プログラム (x64 向け Windows Server 2019 用) (KB5021085)**
Microsoft server operating system, version 22H2	**2022-12 .NET Framework 3.5 および 4.8 の累積的な更新プログラム (x64 向け Microsoft server operating system, version 22H2 用) (KB5021084)**
Windows 11	**2022-12 x64 (KB5021090) 向け Windows 11 用 .NET Framework 3.5、4.8 および 4.8.1 の累積的な更新プログラム**
	2022-12 .NET Framework 3.5 および 4.8.1 の累積的な更新プログラム (x64 向け Windows 11, version 22H2 用) (KB5020880)

もし、上記の.NET framework 3.5の累積的な更新プラグラムを適用したが、TLS1.2などの通信不具合が修正されない場合には、OSの累積的な更新の実施を検討ください。OSの全体の累積更新となるため、時間やダウンロード容量が必要となる点、留意ください。

Windows 10以降:　「累積 x64 年-月(例:2022-12)　OS (例:Windows 10)」

次の表は、2022年12月度時点でのKBファイルです。

TLS1.2の有効化 (Windows 10/Windows Server 2016以上) : OSの 累積的な更新

OS	タイトル
Windows 10, version 1903 and later, Windows 10 LTSB	**2022-12 x64** ベース システム用 **Windows 10 Version 1809** の累積更新プログラム **(KB5022554)** **2022-12 x64** ベース システム用 **Windows 10 Version 1809** の累積更新プログラム **(KB5021237)**
	2022-12 x64 ベース システム用 **Windows 10 Version 20H2** の累積更新プログラム **(KB5021233)**
	2022-12 x64 ベース システム用 **Windows 10 Version 21H1** の累積更新プログラム **(KB5021233)**
	2022-12 x64 ベース システム用 **Windows 10 Version 21H2** の累積更新プログラム **(KB5021233)**
	2022-12 x64 ベース システム用 **Windows 10 Version 22H2** の累積更新プログラム **(KB5021233)**
Windows Server 2019	**2022-12 x64** ベース システム用 **Windows Server 2019** の累積更新プログラム **(KB5022554)** **2022-12 x64** ベース システム用 **Windows Server 2019** の累積更新プログラム **(KB5021237)**
Microsoft server operating system, version 22H2	**2022-12 x64** ベース システム用 **Microsoft server operating system, version 22H2** の累積更新プログラム **(KB5021249)**
Windows 11	**2022-12 x64** ベース システム用 **Windows 11** の累積更新プログラム **(KB5021234)**
	2022-12 x64 ベース システム用 **Windows 11 Version 22H2** の累積更新プログラム **(KB5021255)**

《補足3》 IE/Edge/Chrome のサポート状況について 2023年2月現在

IE,Edge,Chromeのサポート状況をまとめています。(赤字は2023年の変更点(予定を含む)を記しています)

OSのサポートが終了している、Windows7,8,8.1, Windows Server 2008,Windows Server 2008 R2については、IE, Edge, Chromeともに、サポートが終了しており、利用は可能だが、セキュリティアップデートが停止されている状態です。そのため、firefoxなどサポートが継続されている別ブラウザへまたは 別OSへの切替えをご検討ください。

Microsoftより、2023/2/14に、特定のWindows 10において、v110への更新によりIEの無効化(IEは起動できずEdgeが起動)が予定されています。EdgeのIEモードへの切り替えをご検討ください。

○サポート対象　△サポート終了しているが使用可能　×使用できない

OS	OS(延長)サポート終了	IE	Edge	Chrome
Windows 7	終了2020/1/14	△	△109まで	△109まで
Windows7 Extended Security Update(ESU)	終了2023/1/10	△	△109まで	△109まで
Windows8/8.1	終了2023/1/10	△	△109まで	△109まで
Windows Server 2008 ESU	終了2023/1/10	△	△109まで	△109まで
Windows Server 2008 R2 ESU	終了2023/1/10	△	△109まで	△109まで
Windows Server 2012	2023/10/10	○	△109まで	△109まで
Windows Server 2012 R2	2023/10/10	○	△109まで	△109まで
Windows Server 2016	2027年1月	○	○	○
Windows Server 2019	2029年1月	○	○	○
Windows Server 2022	2031年10月	○	○	○
Windows 10 Enterprise LTSC 1507	2025年10月	○	○	○
Windows 10 Enterprise LTSC 1607	2026年10月	○	○	○
Windows 10 Enterprise LTSC 1809	2029年1月	○	○	○
Windows 10 Enterprise LTSC 21H2	2027年1月	○	○	○
Windows 10 Enterprise 20H2	2023/5/9	× IE11 無効化 2023/2/14	○	○
Windows 10 HomePro 21H2	2023/6/13	× IE11 無効化 2023/2/14	○	○
Windows 10 Enterprise 21H2	2024年6月	× IE11 無効化 2023/2/14	○	○
Windows 10 HomePro 22H2	2024年5月	× IE11 無効化 2023/2/14	○	○
Windows 10 Enterprise 22H2	2025年5月	× IE11 無効化 2023/2/14	○	○
Windows 10 上記以外のサポート終了OS	終了	× IE11 無効化 2023/2/14	○ (1709以降)	○
Windows 11 21H2	2023/10/10	×	○	○
Windows 11 22H2	2024年10月	×	○	○

3.3.1に記載の通り、Edgeのバージョンアップは、次の ”Microsoft Edgeについて” を表示または、ブラウザ右上の

からの更新を行うと実施されます。

したがって、バージョンアップして、IEが起動できなくなるかわからない場合には、Edgeを起動しないか、
上記の操作による、Edgeのバージョンアップを実施しないようにお願いいたします。

付録 1.4　その他のエラーコード

■エラーコード 1018

Pharnes 患者登録にて、フリガナ欄「性」と「名」の間に、半角スペース以外を入力して、WEB 送信した場合
→半角スペースに直して保存し、WEB 送信してください。

■エラーコード 999（TLS 以外）

「TLS1.2 通信が行える環境ではありません」**以外**のエラーメッセージが出た場合
→Pharnes 端末の OS、ハード、またはネットワーク環境で、サーバとの通信ができていません。
担当の代理店にご相談お願いいたします。

■エラーコード 2121

ヘルスケア手帳のデータセンターで連携設定が行われていません
→サポート窓口までご連絡ください（下記）

その他のエラーが発生した場合は、サポート窓口までご連絡ください。
電話 サポート お客様相談センター フリーダイヤル　0120-878-211（携帯電話からもご利用可）